

(公表様式1)

福祉サービス第三者評価結果表

① 第三者評価機関

名 称	福島県社会福祉協議会
評価実施日	平成26年1月30日、2月25日
評価調査者番号	①2203
	②2505
	③1909

② 事業者

名 称 (法人名)	うねめの里 (社会福祉法人 郡山福祉会)	種 別	特別養護老人ホーム
代表者氏名	宗像 照男	定 員 (利用者数)	70人 (70人)
所在地	〒963-0211 郡山市片平町字妙見館1番地2		
連絡先	電話番号：024-961-8633 FAX番号：024-961-7899 ホームページ：http://www.koriyama-fukushikai.jp/ メールアドレス：unemenosato@koriyama-fukushikai.jp		

③ 総 評

<p>◇ 特に評価の高い点</p> <p><サービスの質の向上に向けた体制作り></p> <p>職種ごとにキャリアパス体系を明示したうえで、職員一人ひとりの年間研修計画が立てられており、計画に基づいて実施し、評価も行われている。施設内で行われる研修には外部からも複数の講師を招いている。特に介護技術においては、介護専門学校から毎月講師を招き、新しい技術の導入など、提供される介護技術の向上を図っている。</p> <p><提供されるサービスについて></p> <p>提供されるサービスがP(計画策定) →D(実行) →C(評価) →A(見直し)のサイクルで継続的に行われている。24時間シートを活用することにより一人一人に応じたサービスの提供が可能になっている。</p> <p>高齢者の楽しみの一つである食事については、やわらか食やゼリー食を提供することで見た目にもおいしく、誤嚥性肺炎の予防にもつながっている。また、選択食やバイキング食なども定期的に行われている。</p> <p>着替えの衣類や、食事のランチョンマットを入居者が選べるようにしているほか、バイキングで好きなものを選ぶなど自己決定の機会も多く設けられている。</p> <p>◇ 改善を要する点</p> <p><地域の福祉への積極的な取り組み></p> <p>現在、地域の福祉ニーズの把握やそれに基づく活動が積極的に行われていない。</p>

地域と防災協定を結び、地区の婦人会との交流や評議員に地区の民生委員が就任するなど地域とのかかわりを大切にしている。また、地域の高校へ介護講師として職員を派遣するほか、法人設立 20 周年には地域の公民館で介護教室を開催した実績があるので、それらを足掛かりに積極的に地域の福祉ニーズの把握に努め、ニーズに基づいた取り組みが行われることを期待したい。

<居住空間の改善>

1階、2階とユニットケアの3つの居住空間があり、職員がそれぞれ入居者にとって住みやすい空間づくりの工夫を行っている。しかし、1階共有スペース（食堂兼ホール）は広いこともあり居住空間としては殺風景な印象を受けた。季節感を出したりするのは難しいと思われるが、家族等が最初に入る場所であるため、施設全体のイメージを左右することにもなる。早めに改善を行うことで、イメージアップにつなげてほしい。

<評価結果の改善への取り組み>

第三者評価を受審することで、自ら見えてきた課題を把握している。今後は、受審結果とあわせて改善へ継続的に取り組むための仕組みづくりを期待したい。

④ 第三者評価に対する事業者のコメント

開所 10 年の節目に、自分たちの仕事の振り返り、新たなスタートにするために、第三者評価を受審することにしました。自己評価に取り組むことにより、質の高い福祉サービスとして求められる内容についても理解を深めることができ、大変勉強になりました。職員全員で取り組むことでチーム力が向上し、施設の雰囲気も明るく前向きになりました。素晴らしい波及効果です。自己評価は厳しくなってしまいましたが、第三者評価結果では、良く評価していただいた点多く、自信を持つことも必要と思いました。

今後は、更に入居者様の立場になって安心安全な暮らしを支援できるように、研鑽を積み、福祉 QC 活動も身につけ、改善へ継続的に取り組んで参る所存です。

外部監査ではありませんが、毎月会計事務所による月次決算を実施しています。また、事業年度決算後の財務諸表はホームページでも公開し、透明性の確保に努めています。事業の継続性については、全国老人福祉施設協議会と福祉医療機構の経営分析を利用し、堅実な経営に努めています。平成 27 年度からは、地域密着型特別養護老人ホームの運営を始める予定なので、積極的に地域の福祉ニーズの把握に努め、より地域と共に歩み、貢献できる組織をめざし、精進して参ります。

ご指導、ご助言を賜り、有難うございました。

⑤ 評価結果

別紙のとおり